

平成19年度第6回 公立大学法人熊本県立大学教育研究会議
議 事 録

日 時：平成19年10月15日(月)午後2時30分～午後3時55分

場 所：公立大学法人熊本県立大学 大会議室

出席：学長 米澤和彦
副学長 古賀 実
事務局長 角田岩男
文学部長 三木悦三
環境共生学部長 大和田紘一
総合管理学部長 松野了二
学術情報メディアセンター長 松岡 泰
委員 河原畑廣
委員 源島真一郎
委員 坂本元子

オブザーバー：半藤文学研究科長、永尾アドミニストレーション研究科長

事務局：豊田事務局次長、稲葉企画調整室長、井上教務入試課長、鉄戸学生支援課長、田中学術情報メディアセンター事務長、安達入試班長、枝國主幹、元島主幹、林参事

1 開会(進行：豊田事務局次長)

2 学長挨拶

3 議事(議長：米澤学長)

(1) 審議事項

大学院文学研究科日本語日本文学専攻博士課程の入学者選抜実施方針について

事務局から、資料1に基づき、大学院文学研究科日本語日本文学専攻博士課程の入学者選抜実施方針について、「募集人員は、春季募集で2名、選抜区分はなし、選抜方法は専門科目の学力試験、口頭試問及び修士論文等の書類審査で総点300点。試験日程は、他の大学院入試と同様である。また、研究科の理念及び人材育成の目標は博士課程の設置認可申請時に定めた内容である。」との説明があった。

審議の結果、大学院文学研究科日本語日本文学専攻博士課程の入学者選抜実施方針について、案のとおり議決した。

引き続き、事務局から、大学院文学研究科日本語日本文学専攻博士課程の平成20年度設置認可について、資料4に基づき、「6月に文部科学省に文学研究科日本語日本文学専攻の課程変更認可申請を行っていたが、9月28日付けで申請どおり認可された。」との報告があった。

教員採用に係る枠取りについて

松野総合管理学部長から、資料2に基づき、教員採用に係る枠取りについて、「総合管理学部の健康・福祉・アドミニストレーション分野担当教員について、教授で平成20年4月1日採用とする枠取りをお願いしたい。」との説明があった。

また、事務局から、枠取り申請書に希望条件として書かれている年齢に関し、「10月1日より改正雇用対策法が施行され、募集・採用時に年齢制限を設けることが原則として禁止されたため、公募の際には条件としては出せなくなった。」との補足説明があった。

審議の結果、総合管理学部の健康・福祉・アドミニストレーション分野担当教員について、案のとおり1名を教授で、平成20年4月1日採用とする枠取りに

ついて議決した。

教員の採用について

松野総合管理学部長から、資料3に基づき、情報システム論分野の教員採用について、「公募に対して13名の応募があった。総合管理学部内で選考手続きを進め、候補者を選定したので、平成20年4月1日付けで教授として採用をお願いしたい。」との説明があった。続いて、古賀副学長から、10月10日に開催された全学資格審査委員会の結果として、「候補者の研究・教育業績等について審査を行い、教授としての採用が適当であるという結論に至った。」との報告があった。

審議の結果、情報システム論分野の教員採用について、案のとおり議決した。

(2) 報告事項

大学院文学研究科日本語日本文学専攻博士課程の平成20年度設置認可について

(1) 審議事項 の説明と合わせて事務局教務入試課から資料4に基づき報告があった。

平成20年度入学者選抜の出願状況について

- ・ 環境共生学部環境資源学科、居住環境学科自己推薦型入試
- ・ 大学院文学研究科(修士課程)秋季募集
- ・ 大学院アドミニストレーション研究科(博士前期・後期課程)秋季募集

事務局教務入試課から、資料5に基づき、上記選抜試験の試験期日、出願者数、合格者発表日程等について次のとおり報告があった。

環境共生学部環境資源学科、居住環境学科自己推薦型入試については、選抜期日は10月13日、14日で、募集人員各4名に対し、出願者数は環境資源学科が22名、居住環境学科が18名であった。

大学院文学研究科(修士課程)秋季募集については、選抜期日は10月13日で、募集人員は日本語日本文学専攻、英語英米文学専攻各3名に対し、出願者数は日本語日本文学専攻が6名、英語英米文学専攻が1名であった。

大学院アドミニストレーション研究科(博士前期・後期課程)秋季募集については、選抜期日は10月13日、14日で、博士前期課程は20名の募集人員(春季・秋季合わせて)に対し、出願者数は11名、博士後期課程は4名の募集人員(春季・秋季合わせて)に対し、出願者はなかった。

これらの選抜試験について、10月23日の教育研究会議で合格者決定について御審議いただき、同日合格発表予定である。

教員採用に係る再公募について

松野総合管理学部長から、資料6に基づき、教員採用に係る再公募について、「総合管理学部の原価計算論について講師または准教授、プロジェクトマネジメントについて准教授、各1名の教員公募を行い、応募者数はそれぞれ4名と3名であった。総合管理学部で選考手続きを進めた結果、いずれも該当者なしという結論に達した。そのため、公募要件を緩和のうえ、2分野の教員を講師または准教授で再公募を実施している。」との報告があった。

非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料7に基づき、平成19年度後期授業に係る非常勤講師の採用について、「総合管理学部の英語の非常勤講師が病気が出講できないため、同講師担当科目の1科目について非常勤講師1名を平成19年10月3日に採用した。なお、第5回教育研究会議で同講師担当の2科目について、2人の非常勤講師採用が承認されたが、今回は、その時に審議できなかった分である。」

との報告があった。

平成19年度「もやいすと」育成プログラムの実施状況について

古賀副学長から、資料8に基づき、平成19年度「もやいすと」育成プログラムの実施状況について、「8月のキックオフミーティングに引き続き、宿泊研修として、9月に2泊3日で「もやいすと講座 in 和水」と「もやいすと講座 in 阿蘇」を、10月に、「もやいすと講座 in 水俣・芦北」を実施した。なお、これらの活動概要については、11月の白亜祭で展示発表する予定である。」との報告があった。

地域環境フォーラムの開催について

事務局企画調整室から、資料9に基づき、地域環境フォーラムの開催について、「10月21日に、『地域環境の創生』というテーマで、建築家で本学客員教授の葉祥栄氏の基調講演とパネルディスカッションを内容としてフォーラムを開催予定である。」との報告があった。

創立60周年記念シンポジウム「秋・進歩・・・大学と活力」の実施について

事務局学生支援課から、資料10に基づき、創立60周年記念シンポジウム「秋・進歩・・・大学と活力」の実施について、「『大学と活力 - 世界の動向、自分の行動』をテーマにシンポジウムを開催する。内容は基調講演とパネルディスカッションで、講師は野村ホールディングス㈱の池上浩一さん、パネリストは池上さんの他、KKTアナウンサーの本橋馨さん、本学OGで2003ミス・ユニバースジャパンの宮崎京さん、同じくOGで本学教育研究会議委員の和洋女子大学副学長 坂本元子さんである。シンポジウムとの同時開催で学生によるポスターセッションも予定している。」との報告があった。

4 その他

学長から、自由な意見発言、質問を承りたいとの発言があり、地域との連携等について、委員から発言があった。

5 閉会